

充てん設備保安検査点検表（液石法施行規則第64条関係・充てん設備）
(新型バルクローリー)

1. 事業所概要

事業所名称			
事業所所在地	〒		
許可年月日・番号	年 月 日		第 号
検査対象設備処理能力	ガス名 Nm ³ / 日		
充 填 設 備	容器		処理設備
	容量		名称
	型式		型式
	製作所		処理能力
容器再検査	年 月	車両番号	
保安検査	年 月 日	氏名	印 氏名 印
立会者	氏名		印

2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日 認可・届出 有・無			
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日 有・無		
	今年度の策定状況	有	無	適・否
定期自主検査	自 年 月 日	実施者		
	至 年 月 日			
容器の再検査	自 年 月 日	実施者		
	至 年 月 日	焼鈍	有	無
申請書類等の整備	適・否	日常点検	適・否	
基準類の整備状況	適・否	受払記録	適・否	
設備台帳補修記録	適・否	充てん先台帳	適・否	
保安教育実施記録	有・無	交替勤務引継体制	適・否	
防災訓練実施記録	有・無	実施日	年 月 日	

3. 保安管理組織

充てん作業者	氏名
資格：	

* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

4 - 1. 新型バルクローリーに係る技術基準(液石法規則第64条関係)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 貯蔵設備	目 視	・容器の規格を刻印又は標章にて確認 (容器の記号番号 :)	適 不 適	第1項第1号
2. 耐圧性能	目 視 記 録	・記録の保管 : 有 · 無 ・	適 不 適	第1項第2号 (告示第17条)
3. 気密試験	目 視 記 録	・製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない 試験圧力 : MPa 使用ガス名 :	適 不 適	第1項第3号 (告示第18条)
4. 肉厚計測	計 測 記 録	・記録の保存 : 有 · 無 ・計測年月日 : 年 月 日	適 不 適	第1項第4号 (告示第19条)
5. ポンプ又 は圧縮機	目 視	・起動及び停止スイッチは遠隔操作できること ポンプより m	適 不 適	第1項第5号
6. 発電器	記 録	・発電器は火花を発生しない構造	適 不 適	第1項第6号
7. 充てん ホース	目 視	・鋼線網組式ホース(第7号) ・安全継手(第8号) 構造:引張試験 530Nで自動的に分離、遮断 位置:ホースの先端から 60cm 以内 ・カッピング用液流出防止装置(第9号) 1万回以上の接続及び切り離しに耐える 着脱漏れ試験を 10 回繰り返したときの漏れ の総量 50cm ³ 以内	適 不 適	第1項第7号 第1項第8号 (告示第20条) 第1項第9号 (告示第21条)
8.		1 mの高さからコンクリートに落下させて異常がない		
9.		使用中及び輸送中に加えられる振動に耐える 製造事業者の名称又は記号・製造番号・製造		

10. 均圧ホース	目 視	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼線網組式ホース ・安全継手 <p>構造：引張試験 530Nで自動的に分離、遮断 位置：ホースの先端から 60cm 以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カップリング用液流出防止装置 1万回以上の接続及び切り離しに耐える 着脱漏れ試験を 10 回繰り返したとき漏れ の量気体状態で 12 以内 1mの高さからコンクリートに落下させて異常がない 使用中及び輸送中に加えられる振動に耐える 製造事業者の名称又は記号・製造番号 ・製造年月日・呼び径の表示 	適 不適	第1項第10号 (告示第20条 告示第22条)
11. 緊急遮断装置	目 視 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ・容器に取付けられた配管に設置 ・液封による配管又は充てんホースの破損防止 ・作動試験：すみやかに作動すること ・型式 (ワイヤー式 · 油圧式) 	適 不適	第1項第11号 第1項第12号
12. 液面計	目 視	<ul style="list-style-type: none"> ・耐圧部にガラス若しくは合成樹脂を使用していない 	適 不適	第1項第13号 (告示第23条)
13. 温度計	目 視 記 録	<ul style="list-style-type: none"> ・最高・最低の目盛の範囲が百度 ・温度計の比較テストを行い、記録を保管すること 	適 不適	第1項第14号 (告示第24条)
14. 圧力計	目 視 試 験 記 録	<ul style="list-style-type: none"> ・常用の圧力を相当程度異にし、又は異にするおそれのある区分ごとに設置 ・試験年月日： 年 月 日 	適 不適	第1項第15号 (告示第25条)
15. 誤発進防止装置	目 視 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ・充てんホースを充てんホース受け金具から取り外している間車両が発進できない機能 ・充てんホースを完全に格納し操作盤を閉じなければ発進できない機能 	適 不適	第1項第16号 (告示第26条)
16. 緊急停止スイッチ	目 視 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ・操作箱から離れた位置であって充てん設備に固定したもの及び遠隔操作できるものであって携帯式のもの ・緊急遮断弁の閉止、車両のエンジンの停止、ポンプ又は圧縮機の停止、発電器の停止を同時に行うもの ・警報を発するもの又は表示するもの 	適 不適	第1項第17号 (告示第27条)

17. 自動停止装置	目 視 試 験	<ul style="list-style-type: none"> 操作箱内に設置された設備によりガス漏れを検知した場合に停止 <table> <tr> <td>警報設定値</td><td>%</td><td>爆発下限界 1/4 以下</td></tr> <tr> <td>試験濃度</td><td>%</td><td></td></tr> <tr> <td>警報時間</td><td>秒</td><td>30 秒以内</td></tr> </table> 自動車の衝突等異常な衝撃を検知した場合停止 充てん中に操作箱の扉が開いた場合停止 	警報設定値	%	爆発下限界 1/4 以下	試験濃度	%		警報時間	秒	30 秒以内	適 適 否	第 1 項第18号 (告示第28条)
警報設定値	%	爆発下限界 1/4 以下											
試験濃度	%												
警報時間	秒	30 秒以内											
18. 本拠の所在地	目 視	<ul style="list-style-type: none"> 容器置場の面積 : m^2 警戒標の設置 第一種施設距離 法定 m 実測 m 第二種施設距離 法定 m 実測 m 障壁の有無 有・無 構造() 滞留しない構造 	適 適 否	第 1 項第19号 (規則第14条 4・6号は除く)									

4 - 2. 移動に係る技術基準(液石則第48条関係)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1. 警 戒 標	目 視	・警戒標の掲示 : 有・無	適 不 適	第1号
2. 温 度 計	目 視 記 録	・充てん容器は、常に 40 以下に保つこと。 ・温度計の比較テストを行い、記録を保管すること。	適 不 適	第 2 号
3. 防 波 板	目 視	・防波板の設置 : 有・無	適	第 3 号
4. 検 知 棒	記 録	・高さ検知棒 : 適・否	不 適	第 4 号
5. バンパー	測 定	・バンパーと弁(緊急遮断弁又は容器元弁)までの水平距離	適	第 5 号
6. と弁との距 離	記 録	後部取出し式容器 : 法定 40 cm 以上 後部取出し式以外の容器 : 法定 30 cm 以上	不 適	
7. 附 属 品 操作 箱	目 視 記 録	・操作箱の材質 : ・操作箱の補強 : 有・無 ・バンパーとの距離(右側以外) : 法定 20cm 以上	適 不 適	第 7 号
8. ガス漏洩 防止措置	目 視	・ガス漏洩防止措置(附属品が突出した容器) : 有・無・不要	適 不 適	第 8 号
9. 液 面 計 の 材 料	目 視	・ガラス等損傷しやすい材料を用いたものを使用しない	適 不 適	第 9 号

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
10.バルブ等の識別措置	目 視	・バルブの開閉方向、開閉状態等の識別措置： 有・無	適 不適	第10号
11.開始時等の点検	記 録	・移動開始時及び終了時の点検：有・無・ ・補修等の記録：有・無	適 不適	第11号
12.消火設備 防災工具等	目 視	・消火設備の携行：有・無 ・防災資材の携行：有・無 ・防災工具の携行：有・無	適 不適	第12号
14.移 動 15.監 視 者	目 視	・有 資 格 者： 名 ・免状、修了証の携行：有・無	適 不適	第14号 第15号
16.連 絡 等 の措 置	目 視	・荷送人への連絡措置：有・無 ・荷送人等の応援措置：有・無	適 不適	第16号
18.注意書面 の携帯義務	目 視	・イエローカードの携帯：有・無	適 不適	第18号

4 - 3. 技術基準(その他)

検査項目	方法	内 容	結果	備 考
1.安全装置	試 験 記 録	・検査年月日： 年 月 日 ・吹 始 壓： 設定圧力の90%以上、100%以下 ・吹 止 壓： 設定圧力の80%以上	適 不適	容器則第29条
2.容 器 の 表 示	目 視	・可燃性：ガス名の朱書：有・無	適 不適	容器則第10条

5. 気密試験結果

漏 沁：有・無	処 置：済・否 (処置者：)
漏洩箇所：	

6. 指示·指導事項